

お茶の水女子大学の学生が成澤文京区長にロボットの利活用を提案 ～文京区の坂の多さに着目した提案も～

ロボット開発や物流支援ソリューションを幅広く手掛ける株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)が国立大学法人お茶の水女子大学(同文京区、学長:佐々木 泰子、以下 お茶の水女子大学)にて、2023年7月19日(水)から21日(金)まで開催した「ZMP World 2023 ロボタウンお茶大」において、ゲストに成澤廣修文京区長をお招きし、「お茶大生が文京区をテックデザインする」をテーマにお茶の水女子大学生とのキーノートセッションを行いました。



<キーノートセッション会場の様子>

学生からは、安全や健康という視点からロボットの利活用への提案が多く、今までの暮らしの中で、人間だけでは補いきれなかった部分をロボットに助けをもらうことで、より良い未来を作り上げていこうとする内容でした。

また、文京区には坂が多いという点に着目している学生が複数おり、自治体ならではのトークセッションに、来場された方も興味深く耳を傾けていました。

【学生の発表内容】

- ① テーマ:「乳幼児送迎をもっと楽に!! 歩行速モビリティの実用提案」
概要: 文京区内の保育園を起点に、区内でシェア可能な乳幼児送迎に特化した送迎専用モビリティの提案。
- ② テーマ:「街の安全を守る! 警備ロボット」
概要: 夜中の細い路地を警備巡回する警備ロボの提案。
- ③ テーマ:「子どもの安心安全な外遊びを守る! ウォーターサーバー搭載型パトロの提案」
概要: 外遊びをする子どもを熱中症から守るウォーターサーバー搭載型パトロの提案。
- ④ テーマ:「坂道を楽しむ”TekuSakaとRakuRo®」
概要: 坂道を楽しむアプリ TekuSakaとRakuRo®の連携運用の提案。



<キーノートセッションの様子>

【成澤文京区長コメント】

「学生の皆さんはさすがといたしますか文京区のことをよく知っていて、良いところと課題をよく認識した上で解決策を提案していただきました。暮らしの先に未来が見えると考えていますので、技術をしっかり私たちの暮らしの向上につなげられるように、今日の提案を参考にしながら、自治体として努力をしていきたいと思っております。

区内には19の大学があり、こんなに大学のある街って他にないです。大学が文京区の最大の地場産業だとよく言っています。様々な社会実装のチャンスが文京区で始まっていくと思いますので、本日のお茶大ロボタウン2023をきっかけにお茶大でも新技術やインキュベーター達が出てくることを期待したいと思います。」

【ZMP World 2023 ～ロボタウンお茶大～】

特設サイト URL

<https://www.zmp.co.jp/event/zmpworld2023>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 ZMP 広報・ロボプロモーション部

お問い合わせ WEB フォーム

https://www.zmp.co.jp/contact/other_contact

【株式会社 ZMP】

弊社は、『楽しく便利な社会を創る』というミッションのもと、ヒトの移動は『RoboCar®』、モノの移動は『CarriRo®』、そして生活を豊かにする歩行速ロボ『RakuRo®』、『DeliRo®』、『PATORO®』、それらを管理する

ロボットプラットフォーム『ROBO-HI®』と自動化のコアエンジン『IZAC®』など、ロボット・自動運転技術をコアとする製品・サービスを提供しています。

本社：東京都文京区小石川五丁目 41 番 10 号 住友不動産小石川ビル

代表取締役社長：谷口 恒

HP：<https://www.zmp.co.jp/> Twitter：https://twitter.com/zmp_official